



様式第8号 (第6条関係)

令和 6 年 4 月 1 日

(宛先) 志摩市議会議長

会派名 公明

代表者氏名 渡辺友里



政務活動費実績報告書

志摩市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、下記のとおり令和5年度政務活動費に係る調査研究、研修、要請・陳情活動の実績について報告します。

記

1 実績報告の期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 調査研究、研修、要請・陳情活動の概要

○市町村議会議員特別セミナー

- ・自治体決算の意義と審査のポイント

講師 武庫川女子大学 経営学部 教授 金崎 健太郎 氏

- ・行政評価等を活用した決算審査

講師 静岡県立大学 経営情報学部 教授 小西 敦 氏

(演習 議会と行政評価の関係についてグループ討議)

○宮城・岩手・福島研修

- ・宮城県 七ヶ宿町役場

人とモノの流れを再生する小さな拠点事業を学ぶ

志摩市と共通課題の、少子高齢化の進展による人口減少が、小売店舗と雇用機会の減少を招き、さらに不安が人口減少を助長する悪循環に陥ったなかで、住民等の出資による「まちづくり会社」による

賑わい創出策と、行政による交流人口の増加策を組み合わせた意欲的な取り込みを探る。

行政による財政支援と情報発信、民間事業者及び住民による賑わいの創出、金融機関による融資など、関係者が協働した取組みと、「まちづくり会社」の自主財源による自立への道筋を探る。

・岩手県 陸前高田市役所

東日本大震災の経験・復興プロセスを活用した交流活動拠点づくり事業（空き校舎の利活用）など復興まちづくり等を学ぶ

震災に耐えた空き校舎を活用して、「震災経験と防災」「復興再生」「地域交流」等の知の集まる世界的拠点へと発展させていく内容を視察し、近い将来必ず来るであろう「東南海地震」に対する教訓だけでなく、復興と地方創生を効果的に組み合わせ、発展につなげるための取組みとして参考にし、行政だけでなく企業、大学など官民協働による取組み、協賛による自立への道筋を学ぶ。

・福島県 道の駅猪苗代

防災道の駅としての整備と活用計画を学ぶ

「道の駅猪苗代」は、磐越道猪苗代磐梯高原インターチェンジを降りてすぐの国道115号に面して、平成28年11月にオープン。北には磐梯山、南には猪苗代湖を望む抜群のロケーションを有する立地である。

平成27年1月には、地方創生の拠点として期待ができると認められ、防災面で開業に先立ち「重点道の駅」選定され、磐梯山の噴火による災害有事に、町役場を補完するための機能も有する。災害用防災倉庫には200人が2～3日滞在できる食料や毛布を備蓄している事などにより、令和3年6月17日防災道の駅に指定されている。施設内では、地場産品を中心とした物産の販売や、レストラン機能があるが、発電・蓄電設備、BCPの作成など、2025年までに志摩市が整備すべき店について学ぶ。

○第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

テーマ「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

第1部 基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」

片山善博氏（大正大学教授兼地域創造研究所所長）

第2部 パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

コーディネーター 谷隆徳（日本経済新聞編集委員）他

第3部 意見交換会

第4部 課題討議「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

コーディネーター 江藤俊昭（大正大学社会共生学部公共政策学科教授）他
国土交通省 道路局 企画課により「防災道の駅」のあり方を聞く

○アメニティーフォーラム27

障害のある人の豊かな地域生活を推進していくために、必要なサービスの創出とその提供のあり方を議論し提案していく福祉のフォーラム。

例年、全国の社会福祉施設の役職員を中心に、国・地方自治体の福祉担当者、教育関係者など多くの方々が参加。

